

クローンハードディスクスタンドへの 内蔵HDDの取付け手順

MAL-2235SBK
(2.5/3.5インチハードディスクスタンド)

【はじめにお読みください】

【安全上の注意を必ず守っていただくよう、お願い致します。】
お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただく内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただきますようお願い致します。

警告

- ◆本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。
- ◆機器の分解、改良はしないでください。火災や感電の原因になります。
- ◆煙がでたり、異臭や異音が出たら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
- ◆また、その他製品の異常があればご使用をやめ、速やかに弊社サポートまでご連絡ください。
- ◆電源コード、接続コードの上のものをのせたり、傷つけたり・折り曲げ・押し付け・加工などは火災や感電の原因になりますので行わないでください。
- ◆電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。ショート、発熱の原因となり火災、感電の恐れがあります。
- ◆本体を濡らしたり、水気のある場所で使用しないでください。感電や火災、本製品の故障の原因となります。

注意

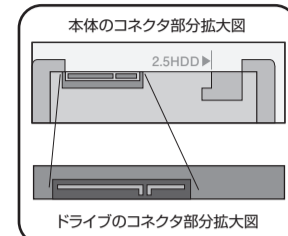
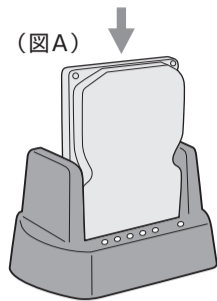
- ◆電源コンセントは、なるべく電源コンセントへ直接接続してください。また、長期間使用しない場合は、コンセントを外してください。
- ◆本製品を電圧器具などの熱をもつ器具の周りに設置しないでください。過熱による火災・故障の原因になります。
- ◆乳幼児の口に入る小さな部品があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ◆パワー・アクセスランプが点滅している間は、電源スイッチをOFFにしたり、パソコンをリセットしないでください。故障の原因になります。データが消去する恐れがあります。
- ◆本製品は精密電子機器ですので、身体の静電気を取り除いてからご使用ください。静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

【注意事項】

- これらの製品は、ハードディスクは含まれておりません。
- USB2.0の機能を利用するにはUSB2.0端子搭載のデバイスをご利用ください。
- 本パッケージの記載内容は、改良その他により予告なく変更する場合がございますので予めご了承ください。
- 社名及び製品名は各会社の商標または登録商標です。
- 本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他のような理由によって破壊された場合でも、弊社での一切の保証はいたしかねます。万が一に備えて重要なデータはあらかじめバックアップするようお願い致します。
- 営業/サポートの受付は平日のみとなります。

ハードディスクの接続

コネクタの向きに気をつけて、静かにまっすぐ差し込みます。



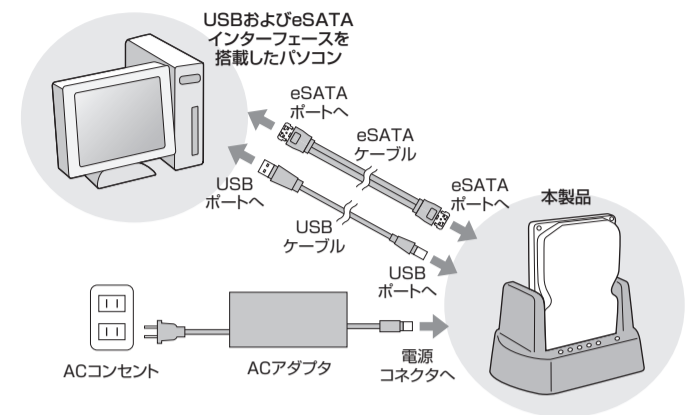
※ドライブ側のコネクタの向きを間違えたり、無理な抜き差しを行なうと破壊の恐れがありますので、ご注意ください。

ハードディスクのSATAコネクタと、本体のSATAコネクタの向きに気をつけて、ハードディスクドライブを上からまっすぐ差し込みます。

3

パソコンと接続

ハードディスクを接続した本製品をパソコンに接続します。



※eSATAインターフェースで2台のHDDをご利用いただく場合は、ポートマルチブライヤ対応のeSATAホストインターフェースボードが必要になります。

【ポートマルチブライヤ対応】でない場合
DISK 1とDISK2にHDDを同時に2台装着してもDISK 1のHDDしか認識しません。DISK 1またはDISK2にそれぞれ片方のみ装着した場合1台のHDDは認識します。

手順

HDDを実装した本製品をパソコンに接続します。

- ①付属のACアダプタを接続します。
- ②付属のUSBケーブルまたは、eSATAケーブルを使ってパソコンと接続します。
両方同時には使用できません。いずれかのケーブルでパソコンと接続してください。
- ③パソコンを起動してから本製品の電源スイッチを入れてください。

※新しいHDDを接続した場合は、ドライブのフォーマットが必要です。フォーマット方法をご覧ください。

※eSATAケーブルで接続する場合は、パソコン側にeSATA端子が必要です。
※eSATAケーブルの抜き差しの方法は、ご利用のパソコンあるいはインタフェースボードの説明書を参照ください。

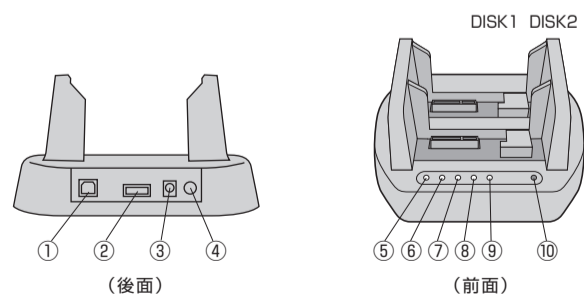
4

パッケージ内容の確認

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. HDDスタンド本体 | 3. USBケーブル 1本 | 5. eSATAケーブル |
| 2. ACアダプタ | 4. 簡易マニュアル | 6. 穴カバー |

本体各部の名称とはたらき

- | | |
|---|--|
| ① USBポート(USB2.0)
付属のUSBケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続します。 | ⑥ HDDアクセスランプ(HARD DISK 1)
HDDにアクセスしているときに点滅します。
コピーモードインジケータ-25%
クローンHDD作成時に点滅または点灯します。 |
| ② eSATAコネクタ(eSATA)
付属のeSATAケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続します。 | ⑦ HDDアクセスランプ(HARD DISK 2)
HDDにアクセスしているときに点滅します。
コピーモードインジケータ-50%
クローンHDD作成時に点滅または点灯します。 |
| ③ 電源コネクタ(DC IN)
付属のACアダプタの電源プラグを差し込みます。本製品に添付のACアダプタ以外は使用しないでください。 | ⑧ コピーモードインジケータ-75%
クローンHDD作成時に点滅または点灯します。 |
| ④ 電源ボタン(POWER)
ボタンを押し込むと本製品の電源が入ります。もう一度ボタンを押すと、電源が切れます。 | ⑨ コピーモードインジケータ-100%
クローンHDD作成時に点滅または点灯します。 |
| ⑤ パワーランプ(POWER)
本製品の電源が入っているときに点灯します。 | ⑩ ダイレクトコピーボタン
クローンHDDを作成する場合に使用します。 |



1

クローンHDDの作成方法

DISK 1に装着したHDDのファイルをDISK2のHDDにコピーします。
DISK2のHDDはDISK1のHDDと同じ容量かDISK1のHDDより大きな容量のHDDをお使い下さい。

※DISK2のHDDに大切なデータが入っていないか確認してください。
※DISK2のHDDに不具合があるかまたはDISK1のHDDより容量が小さい場合COPYボタンは機能しません。(クローンHDDは作成できません)

※DISK2に装着できるHDDは 初期化およびフォーマットしていないもの/初期化してあるがフォーマットしていないもの(未割り当て状態)/あるいはDISK1と同じフォーマットのもの/DISK1とは違うフォーマットのもの/パーティションで分割してあるもの等々どんな状態のHDDでも正常に動作するものであればクローンHDDが作成されます。
クローンHDD領域が作成された残りの領域は「未割り当て」になりますから「DISKの管理」でフォーマットして活用します。
※ケーブルをつけたままですと、コピーモードは動作しません。

1. [DISK 1] にコピー元のHDDを入れてください。(データがすでに入っているHDDです)
2. [DISK 2] にコピー先のHDDを入れてください。
3. 電源を入れるとパワーランプ、DISK 1、DISK2のLEDが点灯します。
4. コピーボタンを連続で2回押すと、コピーを開始いたします。連続で押さないとコピーモードは動作しません。コピーモードインジケータ-25%が点滅を始めます。
5. ブルーのインジケータ-がすべて点灯したらコピー完了です。コピーが完了したら、DISK2のHDDがDISK1より大きな容量の場合、残りの「未割り当て」領域を「DISKの管理」画面でフォーマットしてください。
6. コピーが完了したら電源を切ることができます。また、電源を切らずにパソコンへUSBまたは、eSATA接続が可能です。

※コピーの途中で、電源を切ったり、HDDを外したりしないでください。HDDの故障の原因となります。

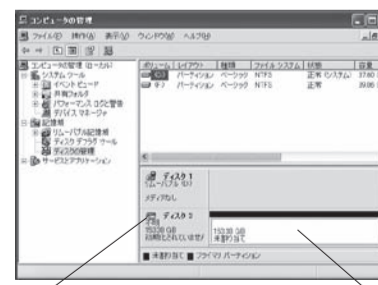
※本体をPCに接続しDISK 1およびDISK2のHDDをマイコンピュータまたは「DISKの管理」でドライブ表示を見た場合、通常はDISK 1がDISK2より若いドライブ表示がされます。

例えば、DISK 1:Eドライブ DISK2:Fドライブ
しかしPCの状態によってはDISK2のHDDが先に認識されDISK 1:Fドライブ DISK2:Eドライブと表示されることがあります。
上記のどの場合であってもCOPYボタンでクローンHDDを作るのはコピー元はDISK 1コピー先はDISK2です。

2

新しいHDDのフォーマット方法

1. WindowsXPの「スタート」メニューから「マイコンピュータ」(Vista/Windows7は「コンピュータ」)を右クリックして、「管理」をクリックして下さい。
2. 「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックすると、各種のドライブが表示されます。(図参照)
未フォーマットのハードディスクが接続されると「不明」と表示されます。(図の①)
「不明」と書かれた部分を右クリックして(図の①)、表示されるメニューから「ディスクの初期化」を選択し「OK」ボタンをクリックします。
この作業でハードディスクが初期化され、パーティションの設定やフォーマットができるようになります。
3. 次にパーティションの設定とフォーマットを行います。
「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいパーティション」の設定と「フォーマット」を行います。(図の②)
フォーマットの作業が完了すると、マイコンピュータでもハードディスクが認識され表示されます。



①右クリックし「ディスクの初期化」を行う。

②右クリックし「パーティションの設定」「フォーマット」を行う。

5

Windows XP

未割り当ての領域にパーティションを設定しフォーマットを行います。
「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいパーティション」を選択して下さい。
「新しいパーティションウィザード」が起動しますので、「次へ」をクリックして下さい。
作成するパーティションの種類は、「拡張パーティション」を選択して次に進みハードディスクを複数のドライブとして使うときは「パーティションのサイズ(容量)」を変更して次に進みフォーマットのメニューが表示されたら内容を確認してフォーマットを行って下さい。
※残りの「未割り当て」部分は上記と同様の手順でパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。

Windows Vista / Windows 7

未割り当ての領域にパーティションを設定しフォーマットを行います。
「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、表示されるメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックすると「新しいシンプルボリュームウィザード」が起動しますのでパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。
※ハードディスクを複数のドライブとして使うときは「シンプルボリュームサイズ」の数値を変更してパーティションの設定とフォーマットを行って下さい。

接続確認

スタート→マイコンピュータでドライブ表示が追加されたか確認してください。

本製品のパソコンからの取り外し

本製品のパソコンからの取り外しは、タスクバーのUSBアイコンをクリックしていただき「ハードウェアの安全な取り外し」を選択してから行ってください。本製品の電源を切ってから、筐体を手で押さえ、静かに抜いてください。

どこよりも安い!! ハードディスクを格安で買うなら!

HDD専門店 ハードディスク激安市場

その他PCパーツも多数品揃え!
もちろんMARSHAL製品も取扱あります!

ハードディスク激安市場 <http://shop.marshall-no1.jp/>